

武蔵野大学 櫻井 真一先生 講義の参考書籍

1.『向こう岸』 著:安田夏菜 講談社(2020)

先生からのコメント:

児童文学の本ですが、貧困問題が私たちの生活の中に、当事者にしかわかりにくいカタチで多様に表れている様子が読み手に分かりやすく記述されています。

貧困低所得者の状況を理解するのに分かりやすい本だと思います。

<https://bookclub.kodansha.co.jp/product?item=0000317979>

2.『「コロナ禍の東京を駆ける」緊急事態宣言かの困窮者支援日記』 編:稲葉剛・小林美穂子・和田静香 岩波書店(2020)

先生からのコメント:

コロナ禍の緊急事態宣言下でのホームレス状態の人たちを支援する人々のドキュメントです。

私たちが「ステイホーム」をしていた期間に、ステイする「ホーム」がない人々にホームを獲得するために当事者と奔走する内容です。

私たちが当たり前の生活を前提とした「緊急事態」と、その当たり前の前提に立てていない人たちが直面した「緊急事態」とのギャップの狭間で支援者がどのようなことを感じながら対応していたのかが高校生の皆さんにも分かりやすく記されている本だと思います。

<https://www.iwanami.co.jp/book/b539123.html>